

(個人)

(報告 田 中)

庚 申 山 1,982m (足尾山塊)

【日時】 24年6月23日 (土) 晴れ

【メンバー】

田 中 (計 1 名)

【行動記録】

大宮3時(クルマ)⇒(東北道他、
岩槻IC-清滝IC)⇒銀山平(5時)⇒
一の鳥居(6時10分)⇒神社跡(7
時19分)⇒庚申山(9時54分)⇒
神社跡(11時48分)⇒一の鳥居(12
時39分)⇒銀山平P(13時33分)

歩行時間7時間53分

【装備・食料等】

携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、ツェルト、水、食事
(昼食)、行動食

【感想】

銀山平駐車場に丁度5時に着いた。既に10台以上の車が停まっている。旧猿田彦神社跡からお山巡りのコースを進んだ。コウシンソウを見るためである。国の特別天然記念物で、容易に見つけることがむずかしいと言われている。一時間足らずで、崖の続く場所に差し掛かる。垂壁一面にサクラソウが群生している。それに目を奪われ、コウシンソウ探しをすっかり忘れてしまった。下山してから、国民宿舎「かじか荘」で汗を流したが、玄関にコウシンソウの写真が飾ってあった。4日前に撮られたものだそうで、サクラソウと並んで写っていた。今回のもう一つの目的は、展望台から皇海山の雄姿を眺めることだった。こちらは、満足の得られるものだった。左に形のいい皇海山が、少し奥に上州武尊、中央にわずかに雪の残る日光白根、太郎山、右手に男体山を初めとする日光連山が連なっている。山頂そのものは木々に囲まれて展望はない。展望台は山頂の先5分ほどであるが、その存在を知らないハイカーもいる。山登りは天気次第のところもあるが、情報収集、安全の確保等、計画から下山まで手を抜けないし、それでも、反省が残ってしまう。

概略図

庚申山(標高1,892m)

庚申山

↑↓

旧猿田彦神社跡

(お山巡り) ↑↓

一の鳥居

↑↓

銀山平